

# 一 般 質 問

令和 4 年第 2 回定例会（6 月 15 日）

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る
高山 豊彦	<p>1. 雇用促進事業の取り組みについて</p> <p>(1) 和東町雇用促進協議会と和東町活性化センターの役割とこれまでの取り組みは。</p> <p>(2) 昨年 10 月から取り組まれている「地域雇用活性化推進事業」の内容は。</p> <p>(3) 活性化センターで取り組まれている「食品循環資源を活用した堆肥づくり」の事業化に向けた取り組みは。</p> <p>2. 観光来訪者等の駐車対策について</p> <p>(1) 石寺茶畑景観への来訪者の路上駐車対策として、駐車場の整備及び路上駐車禁止の啓発の取り組みについて</p>	<p>町長 副町長 農村振興課長</p> <p>地域力推進課長</p>
岡本 正意	<p>1. 水道事業について</p> <p>(1) 料金値上げの影響と対応について</p> <p>①何の説明もないまま大幅値上げを強いられた住民の悲鳴をどう受け止め、負担増の影響をどう考えているか。</p> <p>②高料金対策の対象範囲内での財政措置による減免は、来年度以降も検討し実施を。</p> <p>③料金改定直前月の料金算定は改定前の料金を適用し、返金すべきではないか。</p> <p>④コロナ禍や物価高騰等、厳しい現状を踏まえ、料金の再検討を。</p> <p>(2) 公営企業会計への移行について</p> <p>①「地方公営企業法」では、「法律の適用を受ける企業の範囲」を定めているが、「簡易水道事業を除く」としている。公営企業会計への移行の法的根拠は何か。</p> <p>②独立採算がより求められる企業会計の下で、「本来の目的である公共の福祉の増進」はどう保障されるのか。</p> <p>(3) 京都府が進める水道事業広域化について</p> <p>①今年度中に広域化プラン策定の最終的な協議を実施する予定と聞くが、どこまで話が進んでいるのか。</p> <p>②広域化で具体的に何が変わり、どんなメリット、デメリットが考えられるのか。</p> <p>③水道のあり方は住民にとって重要な問題。住民や議会への情報提供、丁寧な説明や意見聴取を。</p> <p>2. 物価高騰対策について</p> <p>(1) 緊急対策として消費税減税実施を政府に要請を。</p>	<p>町長 建設事業課長</p> <p>町長 農村振興課長 福祉課長</p>

(2) 肥料価格の高騰への対策は。

- ① J A全農が6-10月期の販売価格を最大94%値上げとの報道があったが、国や府への要望とともに、町としての対策はどう考えているか。
- ② 活性化センターの取り組みも踏まえ、町としての自前の堆肥生産、販売・供給体制づくり等、将来的な方向性はどう考えているのか。

(3) シルバー人材センターを早期に開設し、高齢者の雇用機会の創出を。

(4) 国保税、介護保険料の時限的な引き下げの実施を。